

vol. 32

THE NEWS LETTER

2015 WINTER



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／宮内 修平

編集／一般社団法人日本歯科審美学会

ホームページ・ニュースレター委員会

印刷／三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/



一般社団法人
日本歯科審美学会

General Incorporated Japan Academy of Esthetic Dentistry

超高齢社会だからこそ『Beautiful ageing』をサポートしたい！

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 武井典子



超高齢社会を迎え、歯科医療を取り巻く「保健・医療・介護・福祉」の環境も大きく変化しています。近年では、5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)や周術期におけるオーラルケアの有用性に対する認識が高まるとともに、窒息や誤嚥を予防し安全に美味しく食べられるよう、生活の中での口腔機能の向上を目指す、より幅広い概念のオーラルケアが求

められています。すなわち、オーラルケアは、口腔細菌のコントロールによる歯科疾患や肺炎等の気道感染予防だけでなく、口腔機能の維持・向上を通し、生きる楽しみ・QOLの向上へも大きく関わるとの認識が高まっています。そして、近年では、高齢者のフレイル(虚弱)予防、つまり積極的に外出し、人々と触れ合い、美味しく食事をすることの重要性が高まっています。このような口腔の清潔や機能の向上とともに、健康な表情や人々との相互の優れたコミュニケーションへの対応において、歯科審美=「美味しく食べ、楽しく会話し、美しい笑い」のある『Beautiful ageing』をサポートする学際的な科学に基づく歯科医療の視点はますます重要となってきます。

さて、歯科審美分野における材料や治療は高度に進歩し、その効果を一層高めるために、治療に先だって「十分に健康な口腔状態を準備・確保」すること、さらには治療後の「歯科審美の継続」のための口腔管理が不可欠です。このような意味で、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士がそれぞれ専門性を発揮し、また、その総合力によって患者さんや国民の口腔の満足度の向上に寄与することが望まれています。

今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで全うできるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が推進されつつあります。従来の歯科診療所における外来患者中心の「歯科医院完結型」から、今後は、「地域完結型」へと歯科医療の提供体制も変化しつつあり、地域でのきめ細やかな歯科医療・保健の提供が求められてきます。超高齢社会だからこそ、生きる楽しみやQOLの向上、フレイルの予防等に『Beautiful ageing』をサポートする歯科審美の専門性を発揮することが大いに期待されます。

第26回日本歯科審美学会学術大会の開催報告

準備委員長 四ツ谷 護

今回の学術大会では“Show the world a nice smile!”をメインテーマとして、11月22日(日)・23日(月・祝)の両日、東京歯科大学水道橋新館校舎にて盛大に開催いたしました。秋の行楽シーズンにも関わらず、幸いにも全国から約750名のご参加を得ることができました。大会長佐藤 亨のEラインが抄録集の表紙を飾るように、審美Estheticにちなんで、キーニシヤルを「E」として準備、運営をしてみました。

初日のシンポジウムには、武井副理事長をはじめとして6名の演者にて「歯のホワイトニング治療とホワイトニングコーディネーター」をテーマとしてご講演いただきました。多くのホワイトニングコーディネーターのご参加もあり、メイン会場は満席となり、ご用意したサテライト会場(2つの教室)を使用することとなりました。また、ボストン大学のDan Nathanson教授とAACDのJoyce Bassett会長の特別講演には逐次通訳をつけ、ボストン大学の山本英夫先生、吉田明彦先生、キミヨ渡辺ソウヤ先生には日本語にてご講演いただき、アメリカの審美補綴の現状に関して歯科医師・歯科技工士・歯科技工会社の立場からのシンポジウムを担当していただきました。



アメリカ審美補綴の最前線のシンポジスト“チームボストン”



ハンズオンセミナー:宮崎真至先生の指導風景

一般演題は口頭発表5題、ポスター発表61題と多くの登録があり、大会2日目のポスター討議では活発なディスカッションが各会場で行われました。本大会の目玉であるハンズオンセミナーは、大会両日の午前・午後に設定し、受講者は100名を超える盛況ぶりでした。大学の実習室を利用するというメリットを最大限に生かした企画となりました。さらに教育講演として、保存領域では、歯肉・メンテナンスに関して、補綴領域では、CAD/CAM冠に関して、各科の領域にとらわれないデジタルデンティストリーに関してのご講演をいただきました。協賛企業は32社で、27社による企業展示をしていただきました。

大会初日の夕刻に東京ディズニーランドで開催いたしました会員懇親会では、見事抽選に当選した会員の皆様とともに、本物のエンターテインメントを堪能しエキサイティングな思い出となったと思います。

開催主管としましては、ご発表なさった演者各位、ご来臨いただいた参加者、加えて各種企画にご賛同いただき、協賛を申し出てくださった多くの企業・関係者各位に、心からの御礼を申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝と益々のご活躍ご発展、あわせて素晴らしい新年をお迎えになられますようお祈り申し上げ、ご報告とさせていただきます。



いつも満席だったメイン会場



特別講演をするNathanson教授



AACD・KAED・JAEDの3学会のビジネスミーティング

第27回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系

クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野 大会長 越智守生



この度、第27回日本歯科審美学会学術大会の大会長を拝命いたしました。会員数4,600名を超える有数規模の学術団体による学術大会をお世話させて頂くことは、誠に光栄に存じます。そして北海道にとっては2016年という記念すべき年に第27回日本歯科審美学会学術大会を札幌で開催できることに感謝申し上げます。2016年は北海道民宿願の北海道新幹線が新青森・新函館北斗間で開業します。整備新幹線計画が札幌オリンピック後の1973年に発表されてから42年、やっと東京から北海道まで新幹線で繋がるという夢は現実のものとなりました。しかし、これはまだ北海道民にとっては最初の1歩であり、全国新幹線鉄道整備法第7条に明記されている最終目的地の旭川まで路線が整備されてこの大願は成就したと言えるのです。日本歯科審美学会も2015年の一般社団法人化はマイルストーンであり、宮内修平理事長が提言されている若い会員の方々がかときめきを感じるような「魅力ある学会」となっていく過程で、西洋から学び入れた審美という概念を海外の知見や先進的な内容を吸収しつつ、我が国独自の歯科審美学を確立していく時期だと思えます。

このような背景から、第27回日本歯科審美学会学術大会テーマは「歯科審美 さらなる高みを目指して」とさせて頂きました。私が北海道医療大学歯科補綴学第Ⅱ講座(現、クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野)に入局して間もない1989年、Haywoodらが10% 過酸化尿素を主成分としたホームホワイトニングと言われる画期的な方法を報告したことを機に、アメリカの歯科医院でホワイトニングが普及していきました。そして日本国内では1998年にオフィスホワイトニング材「松風ハイライト」、2001年にホームホワイトニング材「NITEホワイトエクセル」(Discus dental, USA)が認可され、生活歯のホワイトニングが日本の歯科臨床に認知されるようになりました。歯を削ることなく、審美性を改善できるホワイトニングはMIの概念に適した治療法であり、患者の歯に対する意識の向上も期待できます。さらにはデンタルインプラントならびに

CAD/CAMによるメタルフリー修復物(主にジルコニアのクラウンブリッジ)の普及拡大、接着歯学の発達、コンピューターを使用した顔貌分析と審美歯科への応用など歯科治療を支える周辺技術の進歩は日進月歩であります。先進医療に関する法律の整備が進められ国民の関心が高まっている今こそ、審美歯科から治療の限界を打ち破る新たな挑戦が望まれます。

最後に、皆様が第27回日本歯科審美学会学術大会に参加することにより、新たな夢と希望と勇気を持ち、次のステージに進める機会にしたいと考えております。本原稿を仕上げる前日に第26回日本歯科審美学会学術大会に参加させて頂きましたが、空前の大盛況のうちに大会は終了しました。佐藤 亨大会長には到底及ばない浅学菲才の私ではありますが、全力で第27回日本歯科審美学会学術大会に取り組んで参ります。皆様の力を集結することにより、大会を盛り上げて頂ければ幸いです。本学会が皆様にとって実り多いものとなりますよう、多数のご演題、ご参加のご協力を重ねてお願い申し上げます。

.....
【開催日時】 2016年8月27日(土)～28日(日)

【開催場所】 京王プラザホテル札幌

(札幌市中央区北5条西7丁目2-1)

学会登録開始日などの詳細は、学会雑誌ならびに学会ホームページ(www.jdshinbi.net/)をご覧ください。



京王プラザホテル札幌

ASDA参加報告

39th American Society For Dental Aesthetics (ASDA) 国際大会レポート

札幌市開業 渡部圭吾

2015年10月14日(水)～17日(土)、アメリカ合衆国、カリフォルニア州、ビバリーヒルズ、ビバリーヒルトンホテルにて39th American Society For Dental Aesthetics (ASDA) 国際大会が開催されました。日本からは、私を含め椿 知之、猪苗代雅俊、野副勝資、半澤一明、宮地俊先生夫妻の7名が参加しました。初日14日は、Welcome Receptionがホテルの最上階で開催され、世界各国から参加したメンバー同士が再会を祝しグラスを傾けました。

講演は15・16・17日の午前中にそれぞれ2講演ずつ行われ、午後は事前登録制のハンズオンワークショップが4会場ですべて行われました。講演の中でカナダ審美歯科学会の創始者の一人でもあるDr. Elliot Mechanicは、審美歯科治療を成功させる上で、矯正科医を含めた包括的なチーム医療が不可欠であり、その中で審美歯科医はアメリカンフットボールのクォーターバック的な役割を担っていると症例を通して講演されました。また、ワシント



学会会場オープニング、今回のスピーカー紹介

ン大学歯学部Dr. David ClarkはTreating Negative Space in the Dentition with Composite Injection Overmoldingと題した講演の中で、彼の開発したBIOCLEAという画期的なマトリックスを用いた治療法を動画を用いて紹介しました。午後のハンズオンが終了すると、毎晩学会主催の懇親会が催されるのもこの学会の楽しみの一つです。また今回特筆すべきは、例年であれば初日の講演に先立ち本学会の会長であるDr. Irwin Smigelの挨拶があるところですが今回はあいにく入院加療中のため出席されなかったことと、我々日本から参加したメンバーによりSmigelが好きなsukiyaki songをDr. Mechanicのギターに合わせて合唱し、ビデオレターとして贈ったことをご報告します。



最終日のパーティーでのsukiyaki song合唱



3日目の夜のbar&grill RAINBOWでの会員親睦会

第9回 IFED大会(ケープタウン)参加、Poster Award 受賞報告

鶴見大学有床義歯補綴学講座 佐藤洋平

2015年の11月5日(木)~7日(土)にケープタウン(南アフリカ共和国)にて開催された第9回IFED大会に出席しましたのでご報告いたします。

IFED(International Federation of Esthetic Dentistry)は、アメリカ(AAED)、ヨーロッパ(EAED)、日本(JAED)の3つの学会が集まって1994年に設立した歯科審美学会の連盟です。現在35の学会が加盟しています。現会長はJAEDの前会長である千田 彰先生です。今回は南アフリカ共和国の審美学会(SAAAD)がホストとなり、Dr. Mark Bowesが大会長をつとめました。

千田会長、大会長のオープニング挨拶によって幕が開きました。3日間の会期の初日は一日を通して世界屈指の審美診療チームであるTeam Atlantaが講演されました。Dr. David Garber、Dr. Maurice Salama、Dr. Henry Salama そしてDr. Cabralがステージ場で掛け合いをする形式で講演されました。会場中が熱



IFED会長として挨拶される千田先生



ポスターコンペティションの表彰

を帯びていました。2日目、3日目の講演も審美を織りなす各分野のオピニオンリーダー達の講演が続き、夢見るような贅沢な時間を甘受する事ができました。各セッション終了後の質疑応答は講演中に学会専用アプリで聴衆からリアルタイムで受け付けた質問から座長が質問するスタイルでした。ステージ場に設けられたソファでリラックスした雰囲気で行われました。日本からは木林先生が補綴と生体のインターフェースとなるジンジバルラインの設定と調整法に関して、富士谷先生がコンポジットレジン充填で審美的、機能的な結果を得るための効果的なテクニックを供覧されていました。お二人の先生には会場から大きな賛辞が送られていました。

ポスターセッションはコンペティション形式で開催され、筆者が1st Prizeを受賞しました。前回大会の木林先生に引き続き日本人の連続優勝となり、その一翼を担えた事を光栄に存じます。

2017年大会は日本(名古屋)で開催されます。1997年・京都大会以来の日本開催です。多くの会員の参加をお願い申し上げます。



質疑応答する木林先生と富士谷先生



ケープタウンのシンボル「テーブルマウンテン」

平成27年度日本歯科審美学会第2回セミナーin福岡

東京都開業・ティーズテクニカルスタジオ有限公司 齋藤哲也



平成27年9月5日(土)に福岡市でホワイトニングコーディネーター講習会と認定試験との併催で開催されました。本年度よりホワイトニングコーディネーターの資格更新には3年間の間にセミナーか学術大会に2回参加して資格更新時には日本歯科審美学会の会員であることが義務づけられました。従来はホワイトニングコーディネーター講習会と併催の場合

は歯科衛生士向けの内容を充実させていただきましたが、今回は歯科衛生士向けの内容と歯科医、歯科技工士向けの内容とバラエティーに富んだプログラムにしてみました。

メインテーマとして「最新の審美歯科治療の潮流」と題して歯科医、歯科衛生士、歯科技工士の最新のトピックスを織り交せて講演が行われました。午前中は「一般社団法人日本歯科審美学会の活動について」真鍋厚史先生(セミナー統括部会長・昭和大学歯学部保存学講座美容歯科学部門教授)より歯科審美学会の社会的な役割について話され、「最新デジタル技術を使用した、歯科矯正診断と治療効果の優位性について」杉山晶二先生(杉山矯正歯科・東京都開業)よりデジタル機器での診断や口腔内カメラでスキャンしたデータでの矯正治療について最新の情報が紹介されました。歯科衛生士として「全身疾患を有する重度歯周病患者の審美歯科治療に対する歯科衛生士の役割」山口とき子先生(長崎大学病院)、「美しいスマイル」齋藤絵里子先生(はしば矯正歯科)のお二人に登壇していただき、そして昼食を挟んで午後は「ホワイトニング情報のアップデート」山口麻衣先生(ホワイトニングコーディネーター委員会委員・昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科学部門助教)からはホワイトニングにおける注意点と最新情報についての講演をしていただきました。歯科技工士からは「審美補綴における材料選択の重要性」齋藤哲也先生(セミナー委員会副委員長・ティーズテクニカルスタジオ有限公司・東京都開業)、最後に「エナメル質の重要性と審美修復材料の選択基準」宮崎隆先生(昭和大学歯学部保存学講座歯科理工学部門教授)より審美修復材料について理工学的に細かく解説をしていただき、最新の情報としてエナメル質耐酸性を向上させる取り組みについて講演されました。セミナー委員会としても今後とも会員の皆様方にとって有益な情報を提供して歯科審美の発展に寄与していきたいと考えておりますのでご意見をセミナー委員会までお寄せいただけたら幸いです。

第3回セミナー開催報告

昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科学部門 山田三良



平成27年10月25日(日)開催の第3回セミナー、「前歯部領域にたいする審美補綴」に参加いたしましたのでご報告申し上げます。今回は秋田県歯科医師会のご協力で、秋田市の秋田県歯科医師会館での開催となりました。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士を中心に、合計84名にご参加頂きました。

最初の講演は、地元スタディーグループ、一水会会長の佐々木俊哉先生に「ラミネートベニアレストレーションにおける支台歯形成の分類」という演題で、ベニア形成の4つのクラス分け、およびラボサイドとの綿密な術前設計は、周囲組織と調和する修復物を製作するには不可欠であることをご教授頂きました。次に秋田県内で開業の齋藤隆輔先生に「上顎前歯部審美障害の改善を行った一例」という演題で、上顎前歯部の審美的指標となる項目を、プロビジョナルを用いて確認、修正をした症例をご呈示いただきました。午前の最後は、本学会セミナー委員会委員の六人部慶彦先生に「歯周組織との調和を目指して」という演題でご講演頂きました。補綴物が歯周組織に調和し、長期的に良好な予後を得るには、プロビジョナルレストレーションが非常に重要であり、調整法等を多くの臨床症例で解説して頂きました。午後は、秋田市の柏木歯科勤務の歯科衛生士で泉谷淳子先生、藤原あや先生に「審美歯科領域のメンテナンスにおける当院での取り組みー拡大鏡と修復型PMTCを中心にー」という演題で、歯科衛生士も拡大視野下で診療を行うことや、歯面の再修復を期待したより積極的なPMTCの有効性についてご紹介頂きました。次に一水会前会長の佐藤洋司先生に「天然歯と補綴物の調和を目指して」という演題で、オールセラミッククラウンの歴史的な変遷をふまえながら、特に隣在歯や周囲組織とのカラーマッチングのポイントをわかり易く解説いただきました。セミナーの最後は日本大学歯学部保存学教室修復学講座教授の宮崎真至先生に「最新のコンポジットレジン修復と臨床テクニックの実際」という演題で、動画で臨床テクニックをわかりやすく解説して頂き、また審美性の高いレジン修復に必要な理論と実践をご講演頂きました。今回のセミナーのテーマは、「前歯部領域」「審美補綴」という限られた領域でしたが、講演内容は上記のように多岐にわたり、セミナーに参加した歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士が早速明日からの臨床に活用できる、充実した内容であったことをご報告申し上げます。

優秀発表賞受賞者のご紹介

優秀奨励論文賞を受賞して

神奈川歯科大学大学院歯学研究科う蝕制御修復学講座 飯塚純子



この度は平成26年度優秀奨励論文賞という大変名誉ある賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。選考していただきました先生方に感謝申し上げます。

今回選考いただきました論文は「エナメル質表層下脱灰病巣における唾液由来有機質のラマン分析とブリーチングによる変化-審美的な再石灰化療法の開発を目指して-」です。

研究背景といたしまして、口腔清掃に対する関心の高まりやフッ化物含有歯磨剤の普及により齲蝕は軽症化し初期齲蝕いわゆるホワイトスポットやブラウンスポットの占める割合が高まっていること、また、近年のMIの概念のもとでは、このような初期齲蝕を早期に検知し元の健全な歯質に戻すという再石灰化処置が求められていることが挙げられます。

私共の講座では初期齲蝕である表層下脱灰病巣の研究を続けており、その中で表層下脱灰病巣内に侵入した唾液タンパク質などの有機物が歯質への着色のみならず再石灰化の進行を妨げている可能性があるという報告に着目し、病巣に侵入した有機物を変性・除去する安全な手段としてオフィスブリーチング剤を選択し、研究を進めております。ラマン分光法を用いて検証した本結果から、35%過酸化水素を主成分とするオフィスブリーチング剤は、エナメル質表層下脱灰病巣の無機質に影響を与えることなく、病巣深部まで侵入した唾液由来の有機成分を減少させることができることが確認できました。これは、唾液由来の有機質が侵入したブラウンスポット等の着色エナメル質表層下脱灰病巣にオフィスブリーチ剤を適用した場合には、審美的回復も兼ねた効果的な再石灰化誘導法となる可能性を示しているものと考えられます。今後は、より詳細に再石灰化率の向上を検討していく予定です。

最後になりましたが、ご指導賜りました向井義晴准教授、ならびにう蝕制御修復学講座の先生方に、心から感謝申し上げます。

優秀発表賞受賞者のご紹介

優秀臨床論文賞を受賞して

愛知学院大学歯学部冠・橋義歯学講座 竹市卓郎



この度、「上顎両側中切歯に異なる材料を用いて歯冠修復した症例」と題した論文に日本歯科審美学会平成26年度優秀臨床論文賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。

本論文は上顎左側中切歯にアルミナセラミックスによるオールセラミッククラウン、上顎右側中切歯にポーセレンラミネートベニアで修復し

た症例報告です。使用する材料によって機械的要件や色調再現の観点から必要とされる厚みが異なり、支台歯の位置や歯軸の傾斜によって異なるため、個々の歯について理想的な支台歯形成デザインを考えることが重要です。さらに支台歯形成ガイド模型は患者へ歯質削除量を説明する際に非常に有用であり、治療計画立案の段階から患者との良好な信頼関係を構築する上でも重要な役割を果たしました。患者は、どれだけ歯を削られるのかという想像力の欠如により生じる治療に対する不安を持っていました。そのため、患者の心理面への配慮を最優先に信頼関係を構築しました。患者は支台歯形成ガイド模型を見ることで自分の歯がどれだけ削られ、また削除量の理由についても十分に納得することができ、安心して治療を受けて頂くことが可能となりました。

左右対象歯の修復について、異なる材料を用いて修復する場合の一つの解決策を提示すると同時に、ポーセレンラミネートベニアの支台歯形成デザインについて考慮しました。色調の整合を図るためにはセメントの色調が歯冠色に与える影響についても考慮する必要があります。歯科用色調適合確認材料を併用した場合においても最終的に色調の整合を図ることは容易ではありません。本症例において歯冠の外形や表面性状とともに色調に関してもシンメトリーが達成され、患者の審美的コンプレックスが解消され、良好な結果が得られました。今後も慎重に長期経過を観察する必要があると考えています。

最後に、本症例の技工を担当し、共著者である本学歯科技工専門学校の塚本文隆先生に深甚なる感謝の意を表します。

デンツプライ賞を受賞して

日本大学歯学部保存学教室修復学講座 高見澤俊樹



このたび、平成26年度学術大会優秀発表賞を頂き、非常に嬉しく思っております。受賞となった発表内容は「プロビジョナルレジンの耐摩耗性について」です。本研究は、PMMA系とペースト系暫間修復材料の耐摩耗性を比較検討したものです。

暫間修復処置は、最終修復物装着までの間、審美、咬合、歯周組織の維持、調和を図るための重要な臨床ステップであるものの、臨床あまり重要視されない傾向があります。また、暫間修復用レジンに関する研究は、他の歯科材料に比較して学術雑誌での論文数も少なく、決してアクティビティーが高い分野の研究でないのが現状と言えます。しかしながら、昨今の歯科臨床を鑑みますと審美、咬合、インプラントおよび歯周治療を組み込んだ包括治療に取り組んでいる先生も多いものと思われます。このような治療は、患者満足度とともに予知性の高い治療が望めるものの、治療の複雑化および治療期間の延長などによって引き起こされる不快事項も少なからずあろうかと思ひます。

暫間修復用レジンには、従来から頻用されているPMMA系に加えてフィラーを添加するとともにオンデマンドで硬化が可能なDual-cure型ペーストタイプレジンも臨床応用されています。本研究では、暫間修復用レジンの有する機械的性質に加えて暫間修復治療中の咬合高径や解剖学的形態の維持に関する耐摩耗性について検討しました。その結果、ペーストタイプの暫間修復用レジン、PMMA系に比較して有意に高い機械的性質および耐摩耗性を有することが明らかとなりました。

日常歯科臨床に新しい材料や機器を導入する際には、使用術式だけでなく治療計画の変更を余儀なくされることも多いため、導入を躊躇される先生も多いのではないのでしょうか？私の所属する研究室では、診査・診断、予防および治療に必要な歯科器材の検討から、これらの器材を安心、安全に使用するための情報を発信してきました。今後も、日常臨床に直結するとともに臨床医に有益となる研究を継続して行いたいと思ひます。最後に、受賞にあたり日本歯科審美学会関係者、研究を支えて頂いた宮崎真至教授および日本大学歯学部保存学教室修復学講座の皆様へ感謝申し上げます。

委員会報告

歯科審美編集委員会

9月に、「歯科審美」第28巻第1号を発行することができました。いつもより薄い冊子が届いていることと思います。この号では、原著1編と特集1編、計2編の論文しか掲載することができませんでした。前々号の27巻1号では原著3編、症例報告3編、特集1編、計7編でしたが、前号の27巻2号では原著2編、特集1編、計3編と徐々に論文数が少なくなっております。このような自主投稿論文の顕著な減少に対し、編集委員会としては危機感を感じております。本学会も法人化され、日本歯科医学会の専門分科会入りを果たすには、やはり学術雑誌の充実化も図らなければなりません。掲載論文の量と質の向上に皆様の絶大なご協力をお願いする所存です。

さて、28巻1号では、特集として「審美修復におけるOne Day Treatment」について3名の先生からご解説を戴きました。昨年高松市で開催された第25回学術大会のシンポジウムでご講演された演者の先生からご執筆戴いたものです。ご都合が悪くこのシンポジウムを聴講できなかった皆様にとっては、シンポジウムの講演概要もわかりますので是非お読みください。また、この号から英文名が「Japanese Journal of Dental Esthetics (Jpn J Dent Esthet)」に変更されましたのでご留意ください。

次号の第28巻第2号(平成28年3月発行予定)には、幸いにも6編(原著1編、症例報告5編)のご投稿を戴いております。ご投稿された論文は、いつも通り査読を進めており、11月27日に編集委員会を開催します。査読結果により論文修正にご負担をおかけする場合がありますが、掲載論文の質向上のためにご協力をお願いいたします。また、次号の特集には「インプラントアンカー、アンカースクリューを用いた矯正治療(案)」を企画しておりますので、是非ご期待ください。

(委員長 新海航一)

国際渉外委員会

日本歯科審美学会(JAED)は、IFED(International Federation of Esthetic Dentistry、国際歯科審美学会：千田 彰会長)とAAAD(Asian Academy of Aesthetic Dentistry、アジア歯科審美学会)に組織加入しています。このうちIFEDの第9回大会が11月にケープタウン(南アフリカ)で開催されました(写真1,2)。この大会では日本を代表して、木林博之先生(京都府)と富士谷盛興先生(愛知学院大)が講演されました。また、ポスターコンペティションでは佐藤洋平先生(鶴見大)が一等賞を獲得されました。次回の第10回大会は、千田 彰大会長のもと、2017年の9月に名古屋国際会議場で開催されます。

JAEDはアメリカ(American Academy of Cosmetic Dentistry, AACD)および韓国歯科審美学会(KAED)と姉妹協定を結び、演者や論文の交流をすすめています。11月のJAED東京大会ではAACDのBassett会長が講演されました。また、12月のKAED秋季大会では、宮内修平理事長が講演されます。

審美関連の国際学会情報は、JAEDホームページに掲載いたします。よろしくお願いたします。(委員長 中村隆志)



IFED千田会長の挨拶



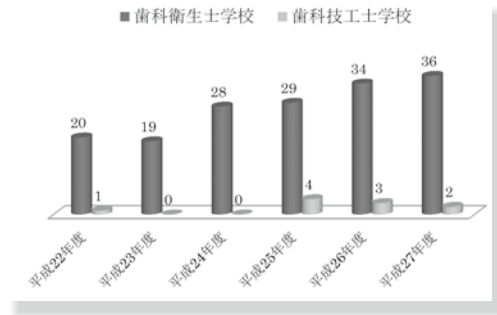
チームアトランタの質疑応答

国内渉外委員会

平素は国内の歯科衛生士学校および歯科技工士学校への出張講義にご協力を賜りまして誠にありがとうございます。今年度も現在までに歯科衛生士学校から36校、歯科技工士学校から2校の出張講義の要請をいただいております。平成22年度から本事業を実施してまいりましたが、要請校の推移はグラフのとおりです。歯科衛生士学校は全国の学校の約1/4からの要請を受けています。歯科技工士学校の場合は、必須科目のなかに「歯科技工美術概論(造形美術概論)」があり、また歯冠修復技工学や有床義歯技工学のなかで「歯科審美学」についてかなり触れている部分があります。したがって、養成される学校も少ないようですが、「歯科審美学」を学際領域として各科目の垣根を越えて総論的に、しかも最新情報を取り込みながらの講義は、また格別なものです。今後ますます増加することも期待されます。出張講義の内容は、基本的には歯科審美学の教授要綱に示されている歯科審美の総論的な内容を講義することが義務付けられ、さらに学校からの要望や講義者の独自性をもって構成されています。現在、講師リストに掲載されています歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士は認定医または認定士の資格を有する代議員41名が登録されています。とりわけ、関東、近畿地区に集中し、北海道・東北、中国・四国エリアの講師がかなり少数です。ぜひとも申請をしていただきたくお願い申し上げます。

いよいよ12月から来年1月にかけて出張講義も佳境に入っております。講義をお願いしています先生方には、大変ご足労

をおかけしますが、歯科審美学会の看板を背負い、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。(委員長 末瀬一彦)



認定医・認定士審議会

認定審議会では、新規および更新申請の書類審査および新規申請者については書類審査に加えて臨床例をプレゼンテーションいただき、その審査を行っています。認定医申請時のケースプレゼンテーションに関しましては、そのポイントを「歯科審美第28巻1号」に掲載しております。これを参考として、ぜひ多くの会員に認定を取得していただければと考えております。以下に、平成27年度に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

【認定審議会の実施状況】

- 平成27年6月18日 平成27年度 第1回認定医・認定士合同審議会
 - 第38期新規認定医審査：書類審査6名(全員)合格
 - 認定医更新書類審査：書類審査7名(全員)合格
 - 認定士更新書類審査：書類審査7名(全員)合格
- 平成27年8月6日 平成27年度 第2回認定医・認定士合同審議会
 - 第38期新規認定医審査：口頭試問審査8名(全員)合格
- 平成27年11月21日 平成27年度 第3回認定医・認定士合同審議会
 - 第39期新規認定医審査：書類審査1名(全員)合格
 - 認定医更新書類審査：書類審査8名(全員)合格
 - 認定士更新書類審査：書類審査6名(全員)合格

【今後の予定について】

- 第39期認定医試験書類審査結果通知：平成27年12月10日(木)
 - 症例提示および口頭試問：平成28年2月25日(木)
- 取得の資格を有しておられる会員におかれましては、是非とも書類を整えられとともに、症例につきましては準備をされ

ますようお願い申し上げます。なお、申請に当たりましては本学会ホームページをご参照頂くか、(財)口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問い合わせをお願いします。

(委員長 宮崎真至)

セミナー委員会

《報告事項》

- 第7回セミナー委員会
(2015年9月5日・九州ビル8階「桐の間」)
- 第8回セミナー委員会
(2015年10月24日・秋田アトリオン地下1階多目的ホール)
- 第9回セミナー委員会
(2015年11月21日・東京歯科大学水道橋校舎新館)

●第2回歯科審美セミナー@福岡

【テーマ】『最新の審美歯科治療の潮流』

【会期】2015年9月6日(日)

【会場】九州ビルホール

【参加者】会員歯科医師13名、非会員歯科医師3名、会員歯科衛生士14名、非会員歯科衛生士19名、会員歯科技工士2名、非会員歯科技工士0名(総数51名)

【プログラム】

『日本歯科審美学会の活動について』

真鍋厚史(セミナー統括部会長・昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科学部門教授)

『最新デジタル技術を使用した、歯科矯正診断と治療効果の優位性について』

杉山晶二(医療法人社団矯晶会杉山矯正歯科医院・東京都)

『全身疾患を有する重度歯周病患者の審美歯科治療に対する歯科衛生士の役割』

山口とき子(長崎大学病院・歯科衛生士・認定士)

『美しいスマイルのために』

斎藤絵里子(はしば矯正歯科・東京都・認定士)

『ホワイトニング情報のアップデート』

山口麻衣(WC委員会委員・認定医・昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科学部門助教)

『審美補綴における材料選択の重要性』

齋藤哲也(セミナー委員会副委員長・認定士・ティーズテクニカルスタジオ(有)・東京都)

『エナメル質の重要性と審美修復材料の選択基準』

宮崎 隆(昭和大学歯学部歯科保存学講座歯科理工学部門教授・昭和大学歯学部長)

●第3回歯科審美セミナー@秋田

【テーマ】『前歯部領域に対する審美補綴』

【会期】2015年10月25日(日)

【会場】秋田県歯科医師会館3階 大会議室

【参加者】会員歯科医師15名、非会員歯科医師10名、会員歯科衛生士2名、非会員歯科衛生士36名、会員歯科技工士1名、非会員歯科技工士8名、その他12名(総数84名)

【プログラム】

『日本歯科審美学会の活動について』

宮内修平(日本歯科審美学会会長)

『ラミネートベニアレストレーションにおける支台歯形成の分類』

佐々木俊哉(北インター歯科・秋田市)

『上顎前歯部審美障害の改善を行った症例』

斎藤隆輔(さいとうデンタルクリニック・由利本荘市)

『歯周組織との調和を目指して—Seeing and Believing』

六人部慶彦(セミナー委員会委員・認定医・むとべデンタルクリニック)

『審美領域のメンテナンスにおける当院での取り組み～拡大鏡と修復型PMTCを中心に～』

進藤瑞紀、藤原あや(柏木歯科医院・秋田市・歯科衛生士)

『天然歯と補綴物の調和を目指して』

佐藤洋司(会員・さとうデンタルクリニック・仙北市)

『患者から評価されるコンポジットレジン修復—最新のコンポジットレジン修復と臨床テクニックの実際—』

宮崎真至(認定医委員会委員長・日本大学歯学部保存学教室修復学講座教授)

《今後の予定》

●第1回歯科審美セミナー(2016年4月・富山市)

●第2回歯科審美セミナー(2016年6月・東京)

●社員総会特別セミナー(2016年6月12日・東京)

●第3回歯科審美セミナー(2016年11月・鹿児島市)

(委員長 有田博一)

ホワイトニングコーディネーター委員会

今年度より日本歯科審美学会の法人化に伴い、WC資格取得に際して日本歯科審美学会への入会が必要になったため、参加人数はかなり減ることが予想されましたが、9月6日にセミナー委員会との合同企画で福岡において開催されたホワイトニングコーディネーターの講習会、認定試験には250名の参加があり、キャンセル待ちも出ました。ホワイトニングコーディネーター

は27年11月現在で3,600人を超えています。11月22日・23日には東京歯科大学において日本歯科審美学会の学術大会が開催され、ホワイトニングシンポジウムと学会で初めての試みとして、実習室を利用したホワイトニングのハンズオンセミナーを行いました。22日のシンポジウムでは「歯のホワイトニング治療とホワイトニングコーディネーター～さらなる発展を目指して～」と題して、千葉県立保健医療大学の金子 潤先生、東京医科歯科大学の大槻昌幸先生、同保坂啓一先生、消費者庁からお越しいただきました長田かおり先生、愛知学院大学の山羽京子先生、ライオン歯科衛生研究所の武井典子先生の各先生方が講演されました。今回の学会は参加者が700名を超えましたが、このシンポジウムも多くの方が参加され、メイン会場だけでなくサテライト2会場もほぼ満席になっていました。また23日のハンズオンセミナーは私、椿が担当させていただいたのですが、ハンズオンセミナーはどことも人気で、35名の定員はすぐに満席になってしまったようです。なお、次のホワイトニングコーディネーター認定試験は平成28年1月17日に大阪で行われます。
(委員長 椿 知之)



歯科衛生士部門

2015年11月22日・23日、東京歯科大学水道橋新校舎にて第26回歯科審美学会学術大会が開催されました。今回の学術大会のシンポジウムⅡでは「歯のホワイトニング治療とホワイトニングコーディネーター～さらなる発展を目指して～」という題で6人のシンポジストの講演がありました。歯のホワイトニングの基本、未来、展開、管理と導入、認定士へのステップアップと繰り広げられました。中でも消費者庁取引対策課の方の「美容医療サービスへのクーリングオフなどの導入に関する検討について」は現在問題になっているクレームなどの具体例を挙げたご講演でした。

最新の情報や知識を求めて各種セミナーや学術大会に参加し、認定士へもステップアップしていただきたいと思います。

2016年1月、大阪でホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験が開催されます。6月には歯科衛生士対象のセミナーも企画しています。また、8月札幌にて第27回日本歯科審美学会学術大会も開催されます。ぜひご参加ください。

(委員 山羽京子)



表彰選考委員会

平成27年度の歯科審美学校も盛会の内に終えることができました。主催されました東京歯科大学の皆さんには心より感謝申し上げます。また、参加されました会員の皆様には豊富な内容に満足され、ディズニーランドでの懇親会に感激されたこと拝察いたします。今回もポスター発表が61演題あり、新しい研究知見や素晴らしい審美修復治療の臨床報告など会場も熱気があふれていました。例年のようにポスター発表優秀賞を選考するために代議員の先生方には記名式の投票をしていただきました。現時点では、まだ集計されていませんが、来年の学会時に表彰する予定です。乞うご期待を……。 (委員長 末瀬一彦)

表彰委員会

表彰委員会の事業として「学会功労賞、優秀論文賞、優秀発表賞(デンツプライ賞)」の表彰を行うことがあります。

本委員会の報告として、直近の表彰についてお知らせいたします。

1. 平成27年度 学会功労賞受賞者
(受賞者氏名) 木村幸平

- (所属機関名) 東北大学大学院歯学研究科
2. 平成26年度 優秀研究論文賞(受賞者なし)
3. 平成26年度 優秀奨励論文賞受賞者

(受賞者氏名) 飯塚純子
(所属機関名) 神奈川歯科大学大学院歯学研究科う蝕制御修復学講座
(応募論文) エナメル質表層下脱灰病巣における唾液由来有機質のラマン分析とブリーチングによる変化-審美的な再石灰化療法の開発を目指して-

(発表学会) 第24回日本歯科審美学会学術大会(2013年7月) ポスター発表
(掲載雑誌) 歯科審美 27巻1号/1頁~7頁, 2014.

4. 平成26年度 優秀臨床論文賞受賞者

(受賞者氏名) 竹市卓郎
(所属機関名) 愛知学院大学歯学部冠・橋義歯学講座
(応募論文) 上顎両側中切歯に異なる材料を用いて歯冠修復した症例
(発表学会) 第24回日本歯科審美学会学術大会(2013年7月) ポスター発表
(掲載雑誌) 歯科審美 27巻1号/38頁~42頁, 2014.

5. 平成26年度 優秀発表賞(デンツプライ賞)受賞者

(受賞者氏名) 高見澤俊樹
(所属機関名) 日本大学歯学部保存学教室修復学講座
(応募論文) プロビジョナルレジンの耐摩耗性について
(発表学会) 第25回日本歯科審美学会学術大会(2014年11月, P-22)

以上の先生方が受賞なさいました。今後も会員の皆様からの各賞に対する御意見・御推薦・御応募をお待ちしております。

(委員長 佐藤 孝)

会則検討委員会

会員の皆様もご存じのとおり、日本歯科審美学会は本年4月1日設立年月日・登記をもって、東京法務局の「履歴事項全部証明書」による御墨付きを得た法人格「一般社団法人 日本歯科審美学会」としての活動を開始しました。

当該証明書には、「この法人は、歯科審美に関する学問と技術を研究し、歯科審美の進歩発展を図るとともに、会員が顎口腔の形態美・色彩美、機能美の調和が図られた歯科医療を実践することにより、国民の健康増進及び福祉の向上、活力ある円滑な社会生活の実現並びに人々の幸福感の向上に貢献することを目的とし、…」と明記されています。本学会は、この目的を具現化してゆくため、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士をはじめとする医療人が、和をもった担い手となり、患者・国民の幸せに充ちた健康増進に寄与してゆくことが求められています。本委員会では、会員各位による活動を含め、委員会や学会とし

での事業が円滑かつ適正になされるよう、“律格”の領域から支援する役目を仰せつかっています。

具体的な対象としては、各委員会管掌による会員行動規範、倫理規程、認定医・認定士精度規則、表彰制度規則などの規則・細則をはじめ、役員選出方法や理事長選出方法などを挙げる事ができます。したがって、この度の法人化を受け、これら規則・細則等について、学会の憲法ともいえる“定款”に整合するよう慎重に内容確認し、必要に応じて、それら改訂(案)を常任理事会・理事会・社員総会へ上程し、承認を得たものについては周知を図ることになります。

本委員会メンバーは、会員・患者・国民への寄与を念頭に、公平かつ明確な“律格”の維持に努めますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。(委員長 奈良陽一郎)

.....

ホームページ・ニュースレター委員会

皆様のご協力によりニュースレター(NL)冬号を発行することが出来ましたことを深く感謝申し上げます。今回のNLには、武井副理事長からの巻頭言、大会報告および案内、各委員会報告、セミナー報告など盛り沢山の内容が掲載されていますので、ぜひお楽しみください。NLは学会誌「歯科審美」の合間に年2回発行しております。バックナンバーはホームページから閲覧出

会務および各種委員会組織 (平成27年4月1日～平成29年度社員総会)			
部門	部会	委員会	委員
学術関連部門 (佐藤 博信)	セミナー統括部会 (真鍋 博史)	セミナー委員会	◎有田 博一 北原 信也 齋藤 誠 六人部慶彦 山田 三良 西ツ谷 謙 ◎山原 孝子 酒井 麻里 中村 映子 ◎齋藤 智也 西村 好美 増田長次郎
		ホワイトニングコーディネーター 委員会	◎榊 知之 石川 明子 稲垣美穂子 大森かをる 河合 利浩 高田 恒彦 坪田 健嗣 吉谷 彰伸 星野 雄代 百瀬 恵美 山口 直史 (幹事責任)
	認定医審議会	◎宮崎真至 石川 明子 香川 正之 高田 恒彦 坪田 健嗣 友田 真臣	
	認定士審議会	◎宮崎 真至 笠原 文夏 鍛冶田忠彦 木村 健二 小峰 太 中村 映子	
広報・編集部門 (新島 彰一)	「歯科審美」 編集委員会	◎新島 彰一 井上 裕之 遠藤 敏哉 金子 潤 齋藤 功 永野 拓貴 瀬野 徹 榊木 勇男 森 和英 鈴木 雅也 (幹事)	
	ホームページ・ニュースレター 委員会	◎橋場 千穂 寺田 典絵 星野 雄代 若林 一進 胎 智典 渡部 圭吾	
国内外交流部門 (中村 隆志)	国際渉外委員会	◎中村 隆志 田上 直美 林 美知子 富士谷隆司 若林 一進 藤 智典	
	国内渉外委員会	◎東塚 一彦 大森かをる 小峰 太 齋藤 智也 須崎 明 永塚 佳奈	
	社会保険委員会	◎藤澤 政紀 小峰 太 齋藤 雅史 照井 崇之 榊木 勇男 遠藤 功 (幹事)	
総務 (大槻 昌幸)	倫理委員会	◎山本 一世 片山 直 越野 寿 山口 佳男 西川 一志 (幹事)	
	会則検討委員会	◎奈良陽一郎 大槻 昌幸 大森かをる 齊木好太郎 武井 典子 富士谷隆司 古地 美佳 榊木 勇男 (幹事責任)	
	表彰委員会	◎佐藤 幸 ○大槻 昌幸 香川 正之 齋藤 栄 福島 正哉 藤 智典	
	表彰選考委員会	◎東塚 一彦 宮内 康平 奈良陽一郎 齊木好太郎 武井 典子 若林 一進 (選考委員) (選考委員) (選考委員) (選考委員) (選考委員) (選考委員)	

アジア歯科審美学会(AAAD) 前会長 久光 久・日本歯科審美学会代表 田上 直美 国際歯科審美学会(IFED) President 千田 彰・日本歯科審美学会代表 中村 隆志
()内は幹事 ◎印委員員 ○印副委員長

来ますので、どうぞホームページもご活用ください。ホームページ(HP)には、最新のセミナー開催予定、学術大会の予定など頻りにアップデートされていますので、www.jdshinbi.net/へアクセスをお願いします。「審美学会」で検索いただいても結構です。また認定医、認定士を目指す先生方には詳細な案内や記録簿の見本等がダウンロードできますので、ご活用いただければ幸いです。

最新の情報をアップできるように心がけておりますが、何かお気づきの点がございましたら、ご連絡いただけますようお願いも申し上げます。HP・NLの更なる充実のため、会員皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。(委員長 橋場千穂)

.....

会員数・認定医・認定士数・WC数(平成27年11月9日現在)

- 【会員数/4,665名(賛助会員含む)】
 - A会員(歯科医師など)/2,587名
 - B会員(歯科技工士、歯科衛生士など)/2,050名
 - 賛助会員/28社
- 【認定医数/135名】
- 【歯科技工士認定士数/32名】
- 【歯科衛生士認定士数/34名】
- 【ホワイトニングコーディネーター数/3,497名】
 - 会員/1,132名 非会員/2,365名

.....

第10回IFED大会開催のお知らせ

第28回日本歯科審美学会学術大会との併催
世界中の著名な歯科医師が集まるまたとない機会ですので、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】2017年9月21日(木)～23日(土)
【会 場】名古屋国際会議場、名古屋東急ホテル



名古屋国際会議場

賛助会員一覧



相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2

Tel: 042-366-1201
http://www.aida-jp



石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7

Tel: 03-3252-8471
http://www.ishifuku.co.jp



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10

Tel: 03-5114-1001
http://www.dentsply-sankin.com



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13

Tel: 03-3703-5581
http://www.tokyogiken.com/



医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10

Tel: 03-5395-7630
http://www.ishiyaku.co.jp



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24

Tel: 03-6801-1301
http://www.ivoclarvivadent.jp



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
http://www.tokuyama-dental.co.jp



株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
http://nissin-dental.jp



ウルトラデントジャパン株式会社
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
http://www.ultradentjapan.com

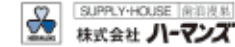


長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5

Tel: 03-3492-7651
http://www.osada-electric.co.jp



パナソニック ヘルスケア株式会社
〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5
西新橋MFビル
Tel: 03-5408-7290
http://panasonic.co.jp/hcc/phc/



株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
http://www.hermans1984.co.jp/



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
http://www.quint-j.co.jp/



グラクソ・スミスクライン・コンシューマヘルスケア・ジャパン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
GSKビル
Tel: 03-5786-5012
http://glaxosmithkline.co.jp



プランネットワークス株式会社
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル3階
Tel: 03-5452-4188
http://www.dentwave.com



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
http://www.j-pentron.com/



クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
http://www.kuraraynoritake.jp/



サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

Tel: 077-582-9981
http://www.sunmedical.co.jp



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5

Tel: 078-303-8241
http://www.mokuda.co.jp/



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35

Tel: 06-6773-3333
http://www.momose-dm.co.jp



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14

Tel (お客様窓口): 0120-416480
http://www.gcdental.co.jp/



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11

Tel: 075-561-1112
http://www.shofu.co.jp/



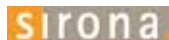
株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18

Tel: 06-6380-2525
http://www.dental-plaza.com



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10

Tel: 03-3836-1871
http://www.morimura-jpn.co.jp/



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5F
Tel: 03-5148-7895
http://www.sirona.co.jp



スリーエムヘルスケア株式会社
〒141-8684 東京都品川区北品川6-7-29

Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9

Tel: 03-3845-2971
http://www.yoshida-dental.co.jp

株式会社 SCIZ

PENTRON JAPAN INC.
Glass Fibre Reinforced Core Build-up System

しなやかに、そして美しく



症例写真「BUILD-IT FR with Fibrekor Post」 ご提供：原宿デンタルオフィス 山崎長部 先生

FibreKor® Post ファイバーコア ポスト

FibreKleer® Post 4X™ ファイバークリア ポスト 4X



ビルドイット FR
Build-It® FR™

Build-It CoreForm ビルドイット コアフォーム



口腔内で支台築造体を製作する際に使用する透明なキャップです
前歯部から臼歯部まで計6種類をご用意しています

ファイバーコア ポスト 管理医療機器 認証番号：222AGBZX00195000号
ファイバークリア ポスト4X 管理医療機器 認証番号：222AGBZX00171000号
ビルドイット FR 管理医療機器 認証番号：21400BZY00278000号
ビルドイット コアフォーム 一般医療機器 届出番号：1382X00022000008号

製造販売元：**ペンロン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 5F・6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320

困難なステイン除去に
この1本を提案します

NEW

Opalustre®

オパールーストラ

- ・PMTC 等では清掃が困難なステインや歯面の
ホワイトスポットの除去が可能
- ・フッ素症に対する低侵襲な処置
- ・矯正ブラケットにより軽度から中程度脱灰した
歯面に使用可能



(Courtesy of Dr. Renato Herman Sundfeld)

#554-JP オパールーストラキット 通常価格14,900円
オパールーストラ 1.2mLシリンジ 4本
オパールカップス フリストル 10個
オパールカップス フレニツジ 10個
ホワイトマックチップ 20個



UltraEZ
ウルトライーズ 知覚過敏抑制剤

アフターケアとして、
フッ化ナトリウムと
硝酸カリウムを含有
したジェルを装着し
ケアします。

#5743-JP ウルトライーズトレイ 通常価格2,300円
上顎 4個、下顎 4個

販売名 オパールーストラキット/一般の名称 歯科用口腔内清掃キット/
一般医療機器 / 医療機器届出番号:13B1X10086000055 / 室温保存
販売名 ウルトライーズ / 一般の名称 歯科用知覚過敏抑制剤材料/
管理医療機器 / 医療機器届出番号:223AKBZX00097000

ULTRADENT
JAPAN 株式会社

0120-060-751 ULTRADENTJAPAN.COM

本 社 〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5 初台村上ビル4F
TEL(03)5365-1760 FAX(03)5365-1759
大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原2-14-4 MF新大阪ビル4F
TEL(06)6151-3251 FAX(06)6151-3252
第一種医療機器製造販売 許可番号:13B1X10086
©2015 Ultradent Products, Inc. All Rights Reserved.

Thinking ahead. Focused on life. MORITA

KATANA

NORITAKE
Dental CAD/CAM System

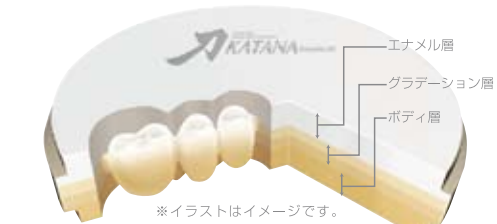
天然歯に近似した表現力

フルジルコニアクラウン用
マルチレイヤード

ML シリーズ

色境のないグラデーションカラー
ジルコニアディスクを採用。
簡単に高透光性かつ高審美的な
フルジルコニアクラウンの
製作が可能となりました。

カラー：A Dark
染色なし/ノンステイン/研磨のみ



歯冠色をした3シェードのバリエーション



カラー	A Light	A Dark	B Light
シェード目安	A1.5~A2	A2.5~A3.5	B1.5~B2

●販売名 ノリタケカタナジルコニア ●一般の名称 歯科切削加工用セラミックス
●医療機器届出番号 223AFBZX00185000 ●医療機器の分類 管理医療機器 (クラスII)

製造販売 クラレノリタケデンタル株式会社 新潟県胎内市豊敷町2-28 〒959-2653

販売 株式会社 **モリタ**
大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06-6380-2525
東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3834-6161

お問合せ お客様相談センター T 0800.222 8020 (フリーコール)

www.dental-plaza.com